

事務局 〒028-3310 紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 Tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 Tel 090-3125-3776

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット15頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

◀ 墳館遺跡(紫波町片寄字漆立)(2) ▶

このような塚が群れをなしている墳館遺跡は、一集落のみに伴う埋葬の場ではなく、遠隔地からも「吉縁」を求めて訪れ、納骨、散骨する「霊場」として長期間にわたって信仰されていたと想定できます。「霊場」として信仰されていた年代は概ね中世の全般と推測されます。

墳館遺跡は「大明神山」の東麓に位置します。「明神」、「大明神」とは、特別に崇敬されている神の呼称です。平安時代以降、日本の神は、仏が化身して現れた姿であるという「本地垂迹説」に基づいて、「大明神」号は仏教と関連あるものと認識されるようになります。墳館遺跡の墳墓群は「大明神山」の信仰に結びついて成立し、長期間に渡って納骨の「霊場」として存続したと考えられます。墳館遺跡が葬送の場として成立した時期は明らかではありませんが、12世紀の信仰関連の施設が種々所在する「新山」に墳館遺跡も所在しており、その時期が、12世紀比爪の時代である可能性は非常に高いと考えます。

◀◀◀ 5月～6月行事予定のお知らせ ▶▶▶

<p>5月16日 (水曜日)</p>	<p>第92回 月例発表会</p> <p>※ 第89回定例発表会(2月21日)に参加した方は、宮良男さんの発表資料をご持参ください。</p>	<p>午後7時から午後9時まで</p> <p>◎ 会員発表 発表者：宮 良男 テーマ：日本の仏教2</p> <p>◎ 歴史講談「火水の舞・金色堂物語」阿部朋巳 作 出演者：こむらさき(大沢斗志子) 演題：藤原基衡の葬儀 出演者：恋紫(簗福晴子) 演題：奥州合戦</p>
<p>6月10日 (日曜日)</p>	<p>第20回 定期講演会</p>	<p>時刻/午後2時から午後4時まで (受付開始時刻：午後1時30分)</p> <p>会場/紫波町赤石公民館 JR日詰駅から徒歩5分</p> <p>講師/川島茂裕氏 演題/(未定)</p> <p>参加料/500円(会員200円)当日受付へ</p> <p>参加申込/6月4日(月)までにFAXで赤石公民館 019-676-3999へ送信</p> <p>お問い合わせ/090-3125-3776(高橋)</p>

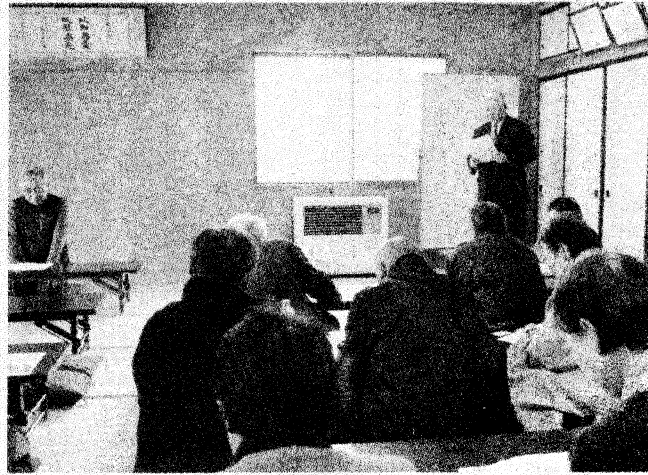
☞ 五郎沼一周・槌爪館遺跡めぐり現地案内や出前講座の依頼受付中

昨年度は、赤石小学校の総合学習の出前講座や、紫波一中ゆうごうセミナーと赤石公民館歴史講座3回シリーズの現地案内などがあり、遺跡案内人部会は大繁盛。しばらく続いた開店休業状態から一気に大躍進でした。本年度からは、子ども会・老人クラブや自治会などの要請にも適切に対応して行きたいと考えています。

実施日の半月ぐらい前までに情報をいただければ、内容・時間など各団体等の希望に合わせて対応しますので、どのようなことでも相談してください。

設立10周年事業を決定

紫波町 ひづめ館懇話会が総会



来年度の設立10周年記念事業の概要などが話し合われた

紫波町日詰の館址、一域活性化を目指している「橋敬明会長」が8日、比爪館について学び地「るひづめ館懇話会(高橋敬明会長)」が8日、同日日詰駅前前の町立赤石公民館で定期総会を開いた。会員ら約30人が出席。2017年度の事業報告と収支報告、18年度の事業計画と収支予算に加え、19年度に設立10周年を迎える同会の記念事業の概要と特別会計収支予算について議論した。創立10周年記念事業としては、▽記念式典参加者配布用「設立10周年記念式典次第・10年の歩み」の作成▽19年7月7日に記念シンポジウム、サミット、

式典、祝賀会開催▽同9月に記念研修旅行(県外1泊2日)▽同11月に記念資料集発行▽同日に記念講演会開催の案が承認された。「全国の榎爪さん集合 in 紫波」と題する

るサミットは、全国の榎爪姓の人に手紙などで通知し、可能な人に出席してもらう企画。町長表敬訪問も予定している。

事業の詳細は、今後準備委員会を組織して決定する。18年度は準備を開始し、19年度の定期総会で「創立10周年記念事業実行委員会」の設置を提案。実行委は準備委の構成員に事業実施業務を担当するスタッフを加えて

組織する。高橋会長は「会員の方々はもちろん、町内の関係する方々にも一緒に祝ってもらえるような規模のものにした」と意気込みを語った。

五郎沼一周・榎爪館遺跡めぐり

＝ 桜まつりに合せ案内受付所を開設 ＝

五郎沼桜まつりの期間に合せ、4月21日(土)、22日(日)の二日間、ボランティアガイドの受付所を開設しました。



五郎沼一周・榎爪館遺跡めぐり

会員が2～3人の体制で対応し、盛岡から来た9名の団体など、ほとんど町外から来た28組約80人の方々に、解説を依頼されたり押売り？することができました。

大勢の人が一周コースを歩かれましたが、同行案内を希望したのは1組だけで、体制上からは幸いでした。

説明を受けた大半の方々は、初めて五郎沼の原風景と榎爪館跡の歴史的な重要性と評価の高さに、とても驚き認識を新たにしておられました。